

アイフロック MC-660

重金属捕集剤

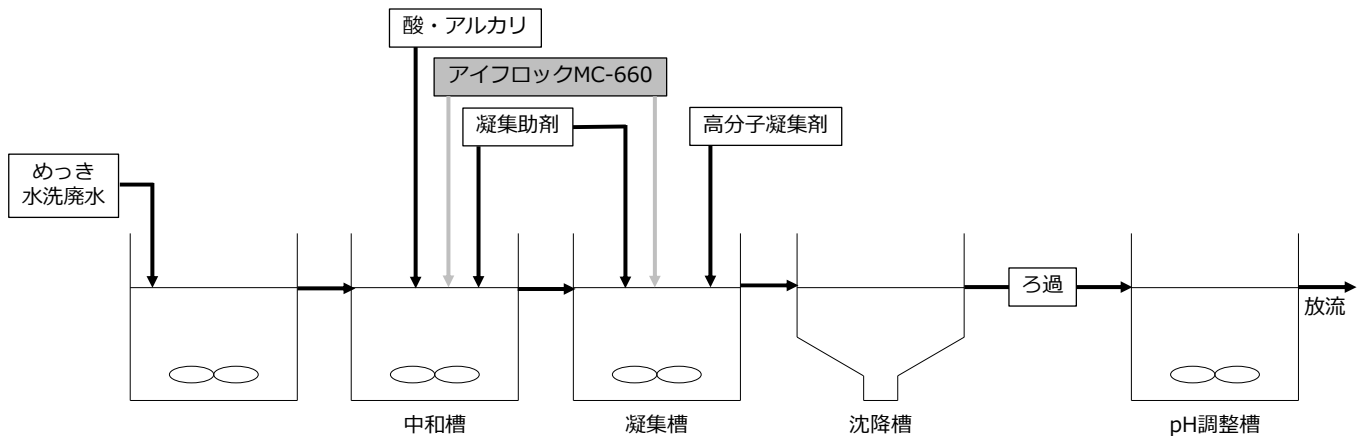


株式会社アイコー

<特長>

- ◇ 各種重金属イオンと反応し、不溶性の塩を形成して処理する重金属捕集剤です。
- ◇ 特に亜鉛や銅イオンの処理に適しています。
- ◇ 従来の中和法では処理が難しかった EDTA、塩化アンモニウム、過硫酸アンモニウム、クエン酸アンモニウム、ピロリン酸イオン等の処理にも有効です。
- ◇ 従来の中和法に比べて重金属除去率に優れています。
- ◇ 現在ご使用の廃水処理設備で使用できます。
- ◇ 廃液中に共存する各種重金属イオンを同時に除去できます（2 価以上のイオン）。
- ◇ 各種重金属イオンの濃度に応じて使用し、成分は金属イオンと結合して固定化されるため、処理水中の残留が少ないです。

<使用方法>



- ①中和槽の pH を適正にする（pH8～13 で使用可能ですが、望ましくは pH9～10）
 - * 各種廃水を適正な pH に調整して中和反応を行うことで、重金属イオンをできるだけ水酸化物としてフロック化します。
 - * pH を調整して反応を効率化させれば、アイコー MC-660 の使用量を節約することができます。
- ②アイコー MC-660 を添加する
 - * 通常、中和槽に添加します。
 - * 廃水中の金属イオンの総量に対して当量を添加します。
 - * 添加量の目安は、単一金属濃度 10mg/L あたり原液のアイコー MC-660 を 0.1mL（2～3 滴）添加してください（実際の廃水では共存物質の影響が大きいため、理論通りとならない場合があります）。
 - * 専用の槽で使用し、他の薬品類とは混合しないでください。
 - * 希釈せず原液のままでも使用できますので、添加用ポンプの能力や薬液槽の容量に応じて使用してください。

